

面積: 200,345平方キロ

(日本の本州の約9/10)(全米50州中16位)

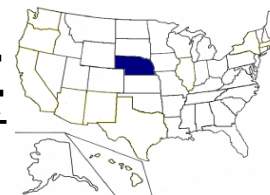
人口: 2,018,006人(2025年国勢調査推計値)(全米37位)

(白人87%, 黒人6%, ヒスパニック14%, アジア3%)

(2025年国勢調査推計値)

州都: Lincoln 愛称: Cornhusker State

ネブラスカ州概要



令和8年3月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事: ジム・ピレン (Jim Pillen)(共)
2023年1月就任、現在1期目
- 議会構成: 一院制(総数49議席)超党派
- 内政状況:
1867年の建州以来、共和党支持傾向が強く、1940年来大統領選挙では、1964年のリンドン・ジョンソン(民)以外は共和党が制している。現在、連邦上下院議員も全議席共和党が独占している。
全米でメイン州とネブラスカ州のみ、選挙人選出が勝者総取りではなく連邦下院選挙区毎となるが、2024年選挙では、選挙人5のうち、共和党が4を獲得(州全体と連邦下院議員第1、3区の勝利)。民主党は、同党優勢のオマハを含む第2区のみで勝利。
全米唯一の一院制州議会は超党派だが、事実上共和党優勢で、中絶や銃規制問題等でもその社会的保守性で知られる。
リケッツ前知事が「三選禁止規定」により2022年知事選に出馬せず、同知事の支持も得て当選したジム・ピレン候補(共)が、2023年1月7日に知事に就任。同月、リケッツ前知事は、任期途中で引退したサッス連邦上院議員(共)に代わり、知事の指名で上院議員に就任した。
本年ピレン知事は再選を目指す。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 5名
- 2024年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率約59.3%)※州全体
- 連邦上院議員
デブ・フィッシャー(Deb Fischer)(共)
ピート・リケッツ(Pete Ricketts)(共)
※本年リケッツ議員が改選対象。
- 連邦下院議員(議席数3名)
民主党0名 共和党3名

経済

【州経済】

- 主要産業: 製造業(食料、化学)、保険、不動産
・農業: 穀物(トウモロコシ、大豆)、畜産(牛)^{※1}
- GDP: 2,005億ドル(2025年)^{※1}
- 1人当たり個人所得: 76,729ドル(2025年)^{※1}
- 失業率: 3.0%(2025年12月)^{※2}
- 輸出額: 7,788百万ドル(2025年)^{※3}
- 主要輸出品目: 加工食品、農産物、一般機械、化学製品、輸送用機器^{※3}
- 輸出相手国(2025年):
メキシコ(25%)、カナダ(20%)、韓国(9%)、日本(8%)、中国(4%)^{※3}
- 財政: (2023年度)^{※3}
歳入: 15,494百万ドル
歳出: 15,058百万ドル
債務残高: 1,842百万ドル
- 経済状況
ネブラスカ州は米国内で上位のトウモロコシ・大豆の生産州であり、米国第2位の牛肉生産州である^{※4}。農業生産を背景とした食品加工も盛んである。また、世界最大の鉄道会社のひとつであるユニオン・パシフィック社の本拠地でもあり、世界最大の投資持株会社であるパークシャー・ハサウェイ社が本部を置いている。

【対日経済】

- 対日輸入額: 437百万ドル(2025年)^{※3}
- 主要輸入品目: 輸送用機器、一般機械、化学製品、金属製品^{※3}
- 対日輸出額: 616百万ドル(2025年)^{※3}
- 主要輸出品目: 加工食品、化学製品^{※3}
- 日系企業の進出状況/雇用数:
65事業所/3,670人(2025年)^{※5}
川崎重工業が1974年にリンカーン工場を操業。
- 州駐日事務所あり(神奈川県)

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: U.S. Department of Agriculture, 5: Consulate-General of Japan in Chicago

日本との関係

【要人往来】

(往)03年6月 ジョハnz知事が対日貿易促進のため訪日。06年11月 シーヒー副知事が駐日事務所開所式出席のため訪日。日米中西部会出席のため、知事・副知事が訪日(07年9月 ハイネマン知事、11年9月 シーヒー副知事、13年9月 ハイデマン副知事、15年9月、17年9月、19年9月 リケッツ知事、23年9月、25年9月 ピレン知事)。22年11月、叙勲伝達式出席及び貿易ミッションのためリケッツ知事が2度訪日。
(来)18年5月、菌浦総理補佐官が来訪。18年には中西部会がオマハで開催され、三日月滋賀県知事、上田埼玉県知事、蒲島熊本県知事が来訪。25年5月 山本群馬県知事来訪。

【文化・広報関係】

ネブラスカ大学リンカーン校言語学科には日本語講座が開設されており、川崎モーターズの寄贈により主に日本図書を集めた「川崎文庫」がある。また、リンカーンにはJET帰国者が創設した太鼓グループ「鼓響太鼓」があり、中西部を中心に活動。
ネブラスカ大学オマハ校でも日本語講座が開設されている他、姉妹校提携先である静岡大学から交換留学生在が派遣されている。
ネブラスカ大学カーニー校は毎年2月に日本祭を開催。
2012年日米桜寄贈100周年記念事業ではオマハ市に苗木を寄贈。オマハ市のローリンツェン日本庭園には、静岡県から駿府御門が寄贈されている。
日米協会は無いが日系人の歴史を伝えるジャパニーズ・ホールが1928年スコッツグラブに開設。2019年12月ゲーリングに移転。

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(オマハ)

【姉妹都市関係(3)】

静岡市(静岡県)ーオマハ
大津町(熊本県)ーヘイスティング
大津町(熊本県)ーアラパホ

【名誉領事】

アンドリュー・シリング(オマハ)